

次に火箸を取り羽箒にて二度箒き打返して
一度箒き羽箒を炭斗の上に載せ火箸を臺子
の正面に持ち廻りて杓立に莊り戻し居前に
向き直りて釜の蓋を切り灰器炭斗を引く事
普通炭手前の如し

棚ある時の炭手前

一運び手前に變りなく只釜を上げたる節に棚
の右脇に置き銀を其左に置く可し若し大釜
等を用ひたる時は棚の左脇迄引き寄せ置く

可し

爐本勝手後炭手前

一炭斗に胴炭并に香合を除き枝炭を逆しまに
立て炭斗の前に置き其他常の通り組み入れ
両手にて持ち出し爐の右脇に置き次に灰匙
を仰向け其上に香を直ちに置き(香合を載せ
てもよし)灰器を持出して定座に置き居前に
向き直り羽箒を爐縁と炭斗の間に置き釜の
蓋を閉め釜に銀を懸け置きて釜敷を取出し

左膝脇に置き一膝前へ進み釜を上げ釜を疊の左方に手なりに置き常の通環を外づして釜の左に置く

一次に居前に向き直り羽箒にて常の如く爐縁を箒き羽箒を常の所に置き次に火箸を取り下火を直し火箸を炭斗の中に入れ炭斗を少し向ふへ寄せ一膝右へ向き灰器を取り常の所に置き灰匙に香を載せたゞ儘取りて香を爐中に投じて後灰をすくひ常の如く蒔きて灰器を元に返し羽箒を取り爐縁の右縁を向

より前へ次に前縁を左より右へ箒き爐段も又同じく箒きて羽箒を元に返し炭斗を前へ寄せ火箸を取り炭を次ぎ火箸を元に返し羽箒を取り爐縁爐段を初めの如く箒き羽箒を炭斗の上に載せ左へ向き釜へ環を掛けて疊の右方へ引き寄せ手なりになし環を外づして釜の左に置き右へ向き直り灰器を持ち勝手へ引き水次に茶巾蓋置を載せ常の如く持出して釜向ひて座し水次を環の左に置き釜へ水をさす事風呂後炭手前に述べたるが如

し
一水をさし終て茶巾にて釜を拭ひ水次を勝手
へ引き又出て釜を掛け炭斗を持ち退く可し
一若し香合を灰匙にのせて用ゆる時も香は灰
を蒔きたる後に焚く可し後炭に限り炭をつ
ぎて後香を焚く事なし

四疊半本勝手爐薄茶點前

一水指を運び出し道具疊の向間中より向ふ圖
の所に置き次に棗茶碗を持出して水指の前
に置合せ次に建水を持ち席に入り茶道口を
閉ざし然る後居前に進み建水を左膝脇に置
く
一左手にて柄杓を取り右手を添へ構へて常の
如く蓋置を取出して爐の右脇前の方に置き
右手にて柄杓を持ち蓋置の上に圖の如くに

引き左手にて建水を少し前へ進め置き体の居ずまいを正す即ち爐縁の左前の内角を体の真にならざる様に居前を定む可し

一左手にて茶碗を取り右手に持ち替へ膝の前に置き次に右手に棗を取り茶碗と膝との間に置き左手にて服紗を取り捌きて右手に持ち左手にて棗を取り拭ふ事風呂點前に同じ棗を拭ひ終りて水指と爐縁の左前角との間に水指の方へ少し寄りたる方へ置き次に茶杓を拭ひ棗の上に手なりに置き茶筌を取り

出して棗の右に斜に置き茶碗を少し前に引き寄せ服紗を帯に挟む(但し共蓋又は婦人は服紗にて釜の蓋を扱ふ事風呂點前に述べたゝが如し)

一次に右手にて柄杓を取り構へて釜の蓋を取り蓋置の上に置き茶巾を其上に載せ柄杓を左手にて扱ひ右手に持ち替へ湯を汲み茶碗に入れ柄杓の合を釜の口に落し入れ俯向けて柄を爐縁の前三つ割りの所に引き茶筌投じを爲し順次茶を點じて茶碗を釜の蓋の向

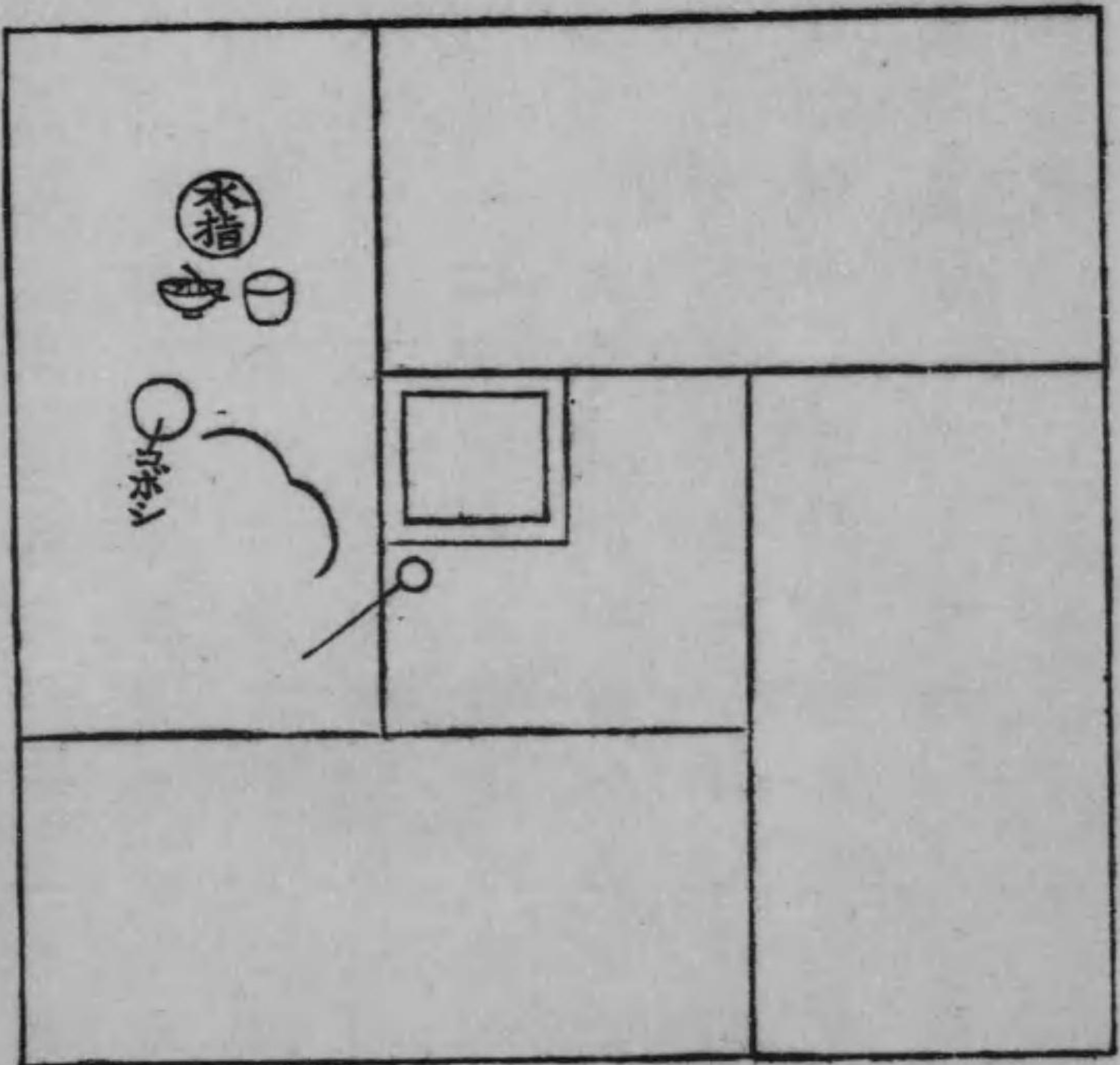
ふ少し右へ寄りたる方へ出す

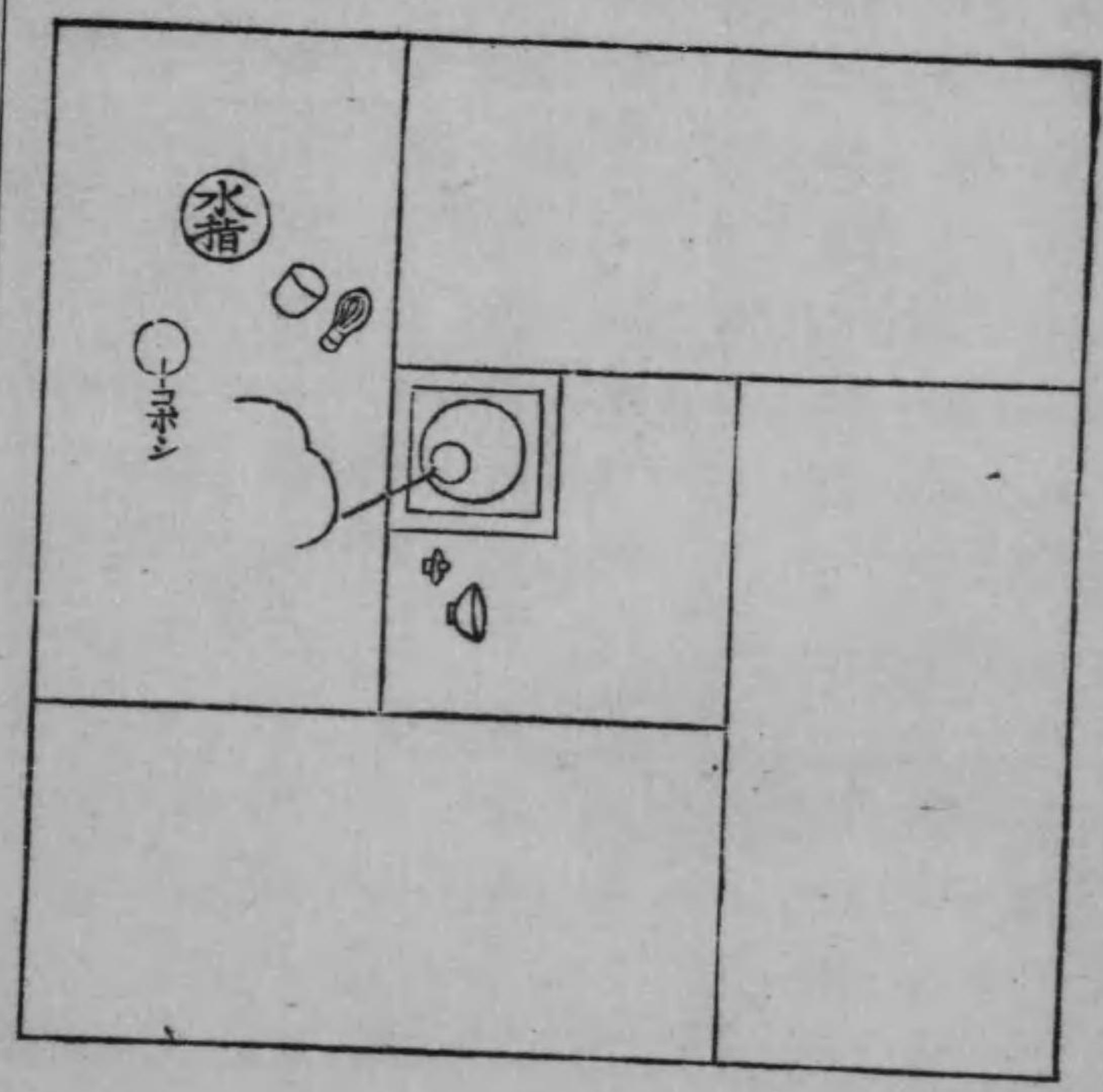
一水指の蓋は右手にて取り左手に持替へ水指の左脇に立掛け置く

一茶碗返れば亭主之を膝前に取入れ仕舞ふ事
風呂點前に同じく終りに茶杓を拭ひ茶碗に載せ服紗を建水の上にて拂ひ帯に挟み次に右手にて棗を少し左へ寄せ右手にて茶碗を取り左手に渡して水指の前に初めの如く棗と置合し柄杓を取り釜へ水をさし柄杓を構へて釜の蓋を爲し柄杓を蓋置の上に引き左

手にて水指の蓋を取り右手にて蓋を閉め次に右手にて柄杓を取り柄を横に爲しふしの所を握り込み左手にて蓋置を取り右手に持たせ水指の正面に向き建水を持ち茶道口に座し建水を膝前に置き左手にて蓋置を建水の右脇に置き柄杓を左手にて扱ひ俯向けて建水の上に載せ右手にて襖の引手を持ち茶道口を半ば明け次に左手にて明け切り柄杓蓋置建水を前の如くに持ち立て勝手へ入る
一若し棗茶杓の拜見を乞はれたる節には柄杓

を右にて取り左手に渡し建水の上に俯つ向
 けて載せ置き右手にて蓋置を取り左掌に載
 せ水指の正面へ持廻り左手にて柄杓の柄の
 下に置き右手にて茶碗を疊の左方へ假置し
 右手にて棗を取り左掌に載せ客付へ持廻り
 客に正面して棗を膝前に置き常の如く拭ひ
 て爐の右脇銀付より少しく手前の所へ出し
 服紗を帯に挟み又水指の方に向き右手にて
 茶杓を取り左手に持ち居前に向き棗の下座
 へ杓を并べ置く





四疊半本勝手濃茶點前

一水指を疊の間中より凡そ七寸程向ふに左右の中央に置き其前茶入を莊り置く可し

一亭主茶道口を開け茶碗を持ち水指の前に座し茶碗を左へ假置し茶入を少し右へ寄せ左手にて茶碗を取り右手にて扱ひ左手にて茶入と置合し次に建水を持ち出て茶道口を閉ざし居前に座し柄杓を取り構へて蓋置を取出して定座に置き柄杓を其上に引き主客共

に總禮して後建水を進め居ずまいを正す
一次に左手にて茶碗を取り右手にて膝前に置
き茶入を取茶碗と膝との間に置き茶入の袋
を外づして水指の左脇に置き服紗を取四方
捌きを爲して常の如く疊み茶入を拭ひ水指
と爐縁との間に置き服紗を捌き直して茶杓
を扱ひ茶入の上に蓋のつまみを左にして載
せ置き茶筌を出して茶入と斜めに置合し服
紗を二つに折返して水指の蓋を拭ひ服紗を
左手に持たせ右手にて茶碗を前に引茶巾を

水指の蓋の上に乗せ服紗を帯に挟む
一右手にて柄杓を取り構へて釜の蓋を取り蓋
置の上に置き湯を汲みて茶碗に入れ柄杓を
構へて釜の蓋を閉め切り柄杓を蓋置の上に
引き茶筌投じを爲して茶筌を元座に返し湯
を建水に捨て茶巾を取り茶碗を拭ひ茶巾水
指の上に戻し茶杓を取り茶入を取り茶をす
くひ入れ茶杓を茶碗の縁に載せ茶入を廻し
て茶を入れ茶入を元座に戻し茶杓にて茶を
捌き茶杓を元の如く茶入の上に置き柄杓を

取り構へて釜の蓋を取り蓋置の上に置き湯を汲みて茶碗に入れ柄杓を釜にかけ置き茶筌を取り茶を捏り茶筌を茶碗に入れたる儘湯を汲みて茶碗に入れ柄杓を前の如く懸け置きて茶筌を持ち茶を捏りて茶筌を元座に戻し茶碗を取上げ客へ出す

一客は風呂濃茶の如く茶を呑み茶碗拜見し終りて亭主へ返す

一上客一口呑みたる時亭主は服加減を尋ね續いて柄杓を取り構へて釜の蓋を常の如く爲

し柄杓を建水に載せ蓋置を取り左手に渡し建水の後ろに置き客へ正面して控へ上客より茶銘其他聞きたる時之れに答へ末客呑み切れば居前に向き直り左手にて蓋置を取り右手に持ち替へて常の所に置き又左手にて取り構へて釜の蓋を取り蓋置の上に載せ柄杓を釜に懸け右手にて茶巾を取り釜の蓋の上に置き同じく右手にて水指の蓋を取り左手に持ち替へ水指の左脇に立掛け置き柄杓を取り扱ふて右手に持ち替へ釜へ一杓水を

さし控へ居る

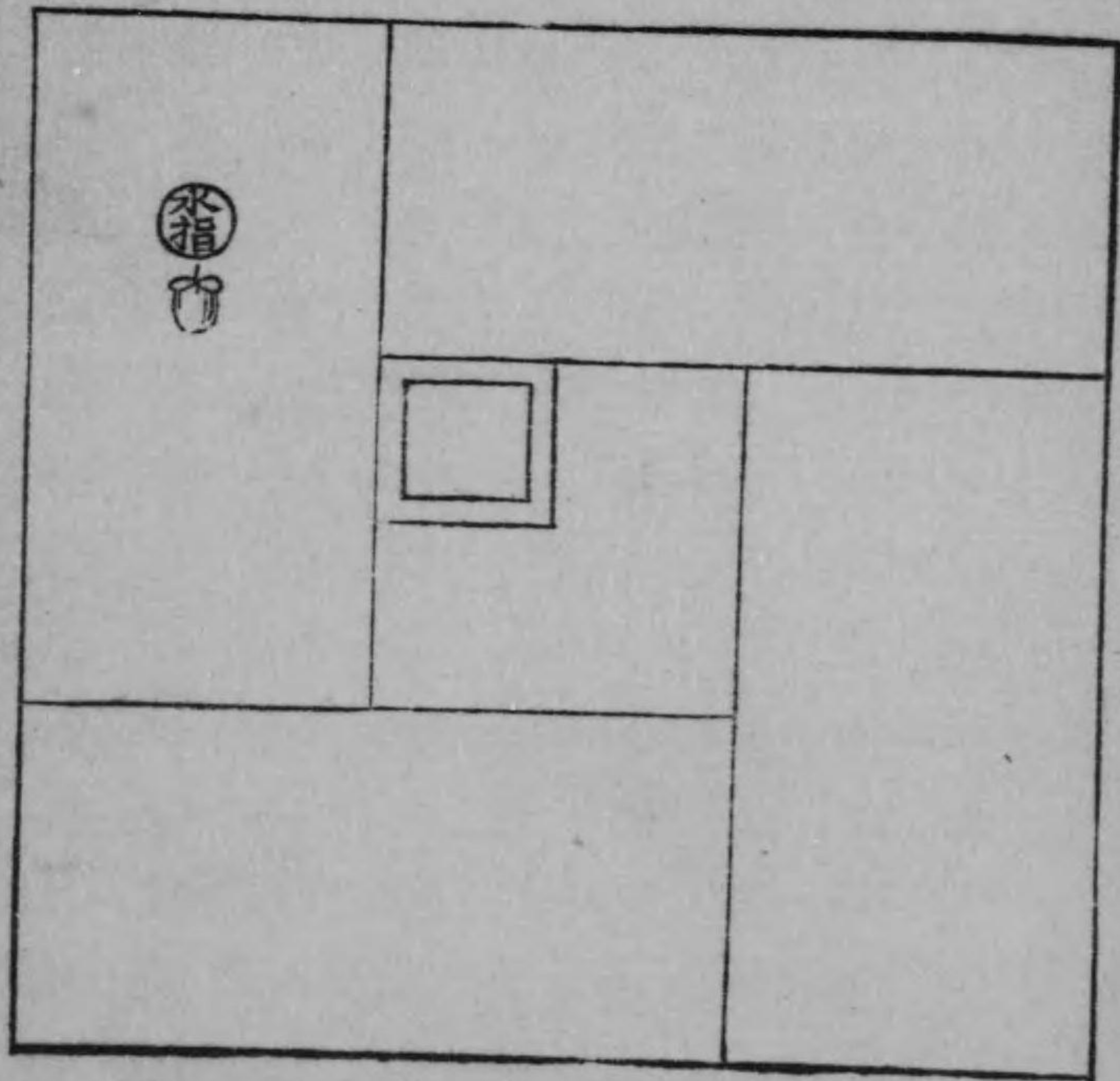
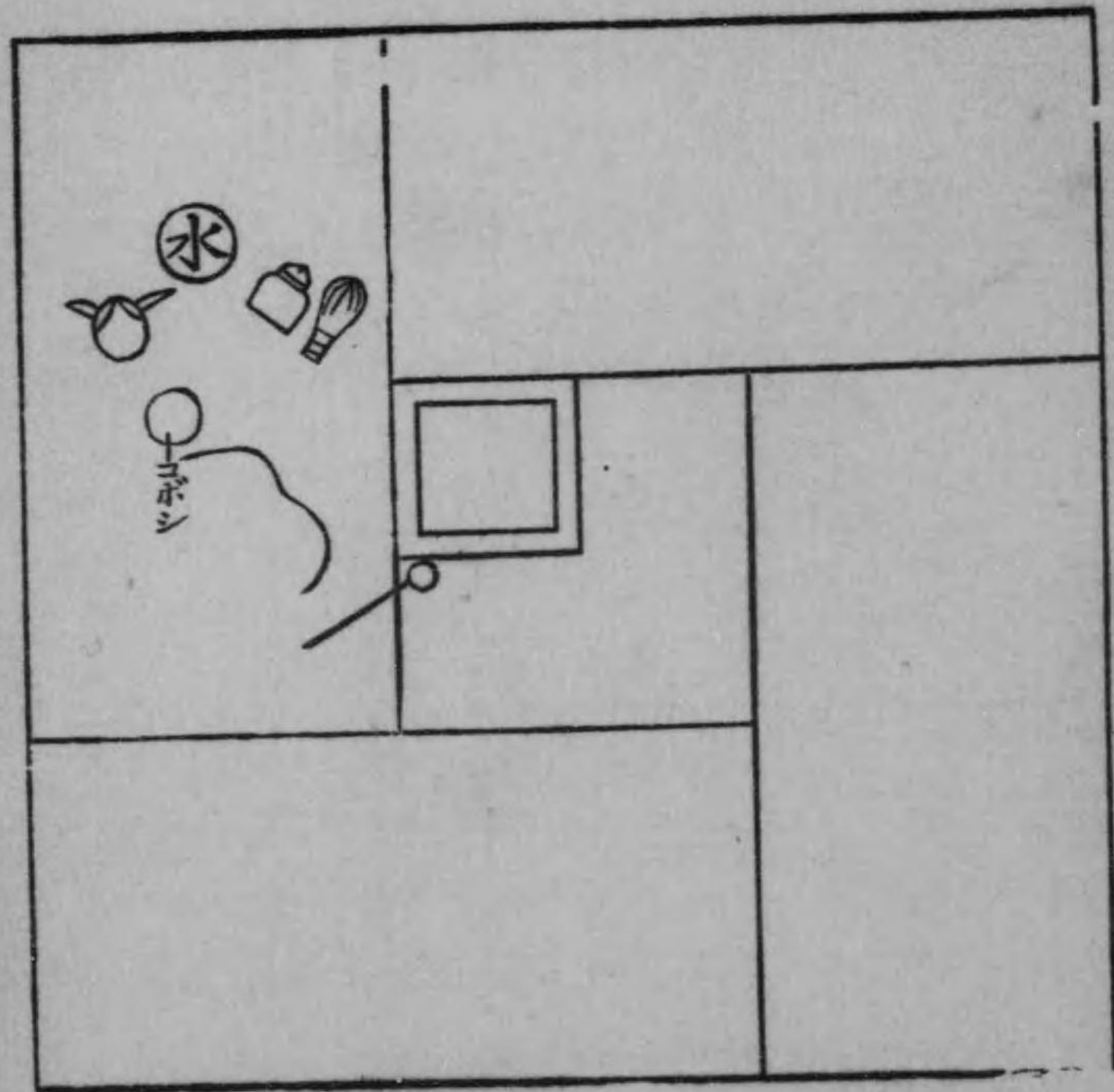
一茶碗返れば之れを取り込み主客共に總禮し湯を汲みて茶碗を洗ひ仕舞の挨拶を爲し水を汲みて茶筌投じを爲し水を建水に捨て茶巾を茶碗に入れ同じく茶筌を入れ次に茶杓を取り建水を引き服紗を捌きて茶杓を拭ひて茶碗に載せ服紗を拂ひて帯に挟み茶入を少し右へ寄せ茶碗を取り茶入と初めの如く置合し釜へ水を指して釜の蓋を閉め柄杓を蓋置の上に引き水指の蓋を爲す

一上客より茶入茶杓袋の拜見所望あり亭主之れを受けて柄杓を取り建水の上に載せ蓋置を取り左掌に載せて水指の正面へ持廻り建水の後ろに置き茶碗を右手にて疊の左方へ假置し茶入を客の正面に持廻りて常の如く拭ひて爐の右脇へ出服紗を帯に挟み水指の正面へ向き直りて右手にて茶杓を取左に持ち居前へ向き茶入の下座へ出し其儘左手にて袋を取り右手にて袋の横を持ち左掌に載せ更に客の正面へ向直りて茶杓の下座へ并

茶

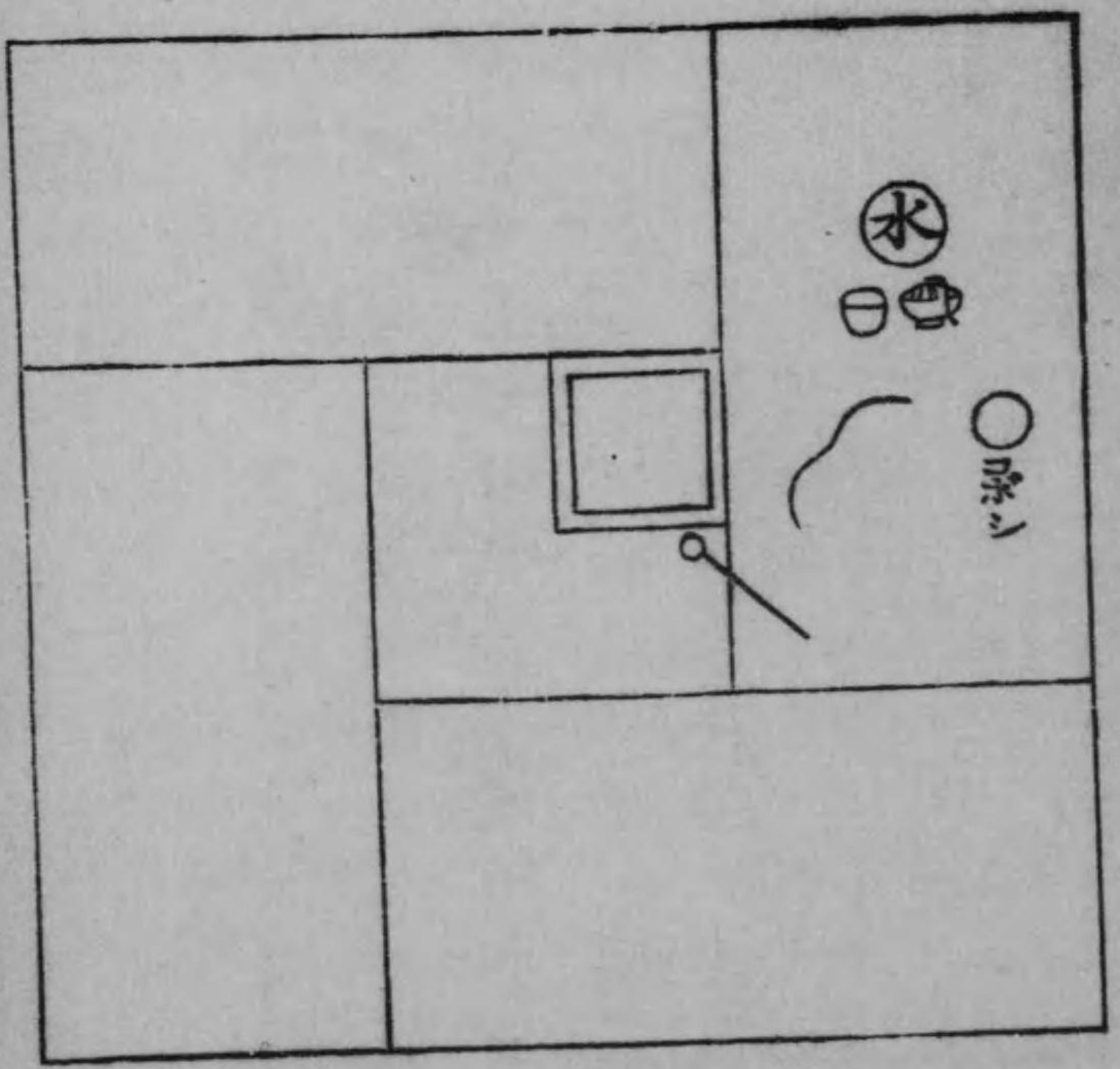
べ出し水指の正面へ向き左手にて柄杓を取り
り柄を横にして右手に持ち替へ蓋置を共に
持ち左手にて建水を持ち勝手へ引き次に茶
碗を引き水指を引く事常の通り變りなし
一 共蓋又は婦人は服紗にて釜の蓋を扱ふ事常
の通りにして最初釜の蓋を取りて服紗を右
膝先に假置し茶碗に湯を汲みて柄杓を搆へ
服紗にて釜の蓋を閉め同じく服紗を右膝先
に假置し茶筌投じを終りて柄杓を搆へ服紗
にて釜の蓋を取り服紗を建水の後に置き茶

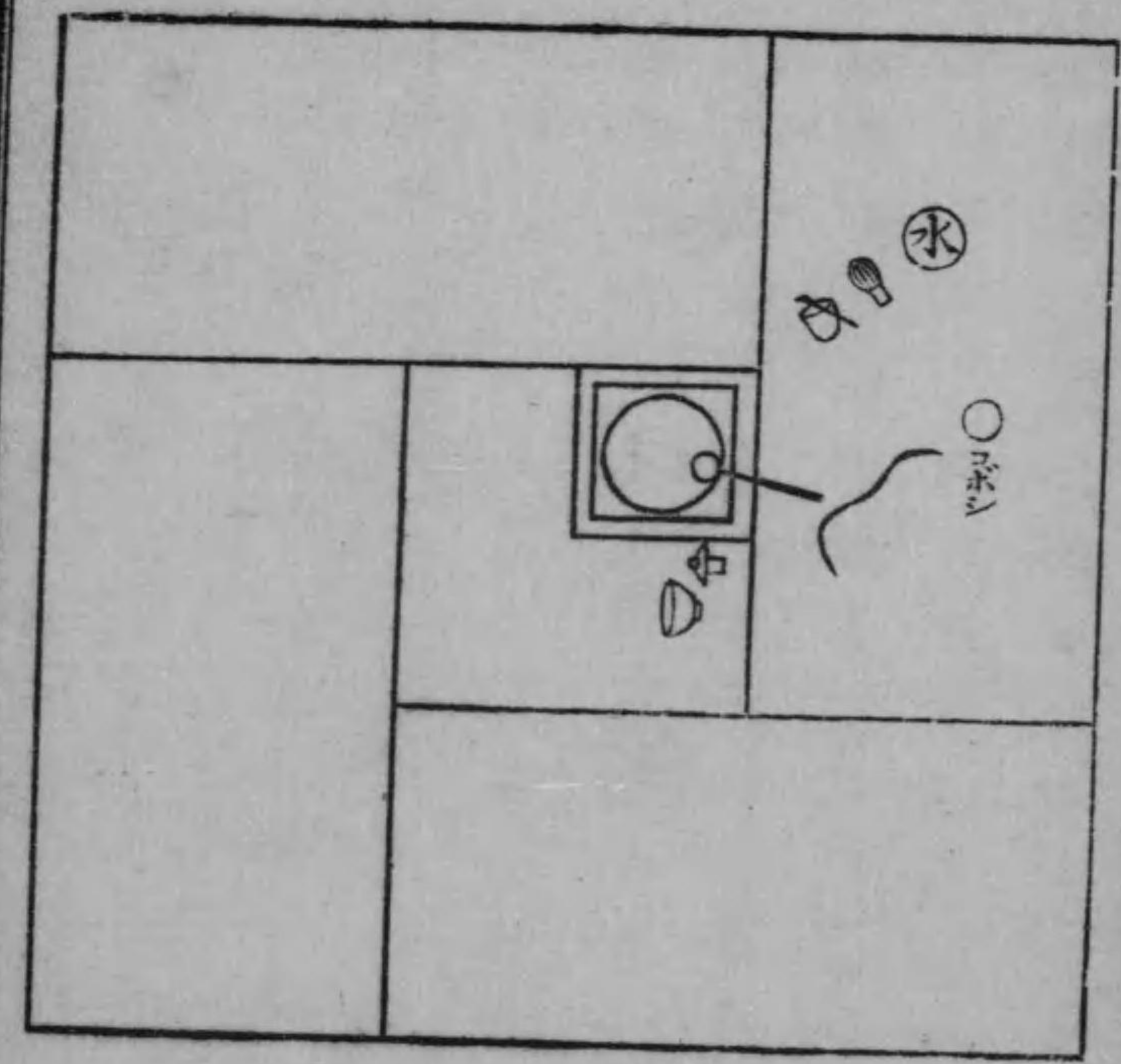
を點ずる事前に述べたるが如し而して中仕
舞を解きて釜へ水をさしたる後服紗を帯に
挟む可し



四疊半逆勝手爐薄茶並に濃茶點前

一總べて本勝手の打返しにして水指の蓋は三手に扱ひ取る可し其他逆勝手風呂點前の項に述べたるが如く圖に就きて知る可し

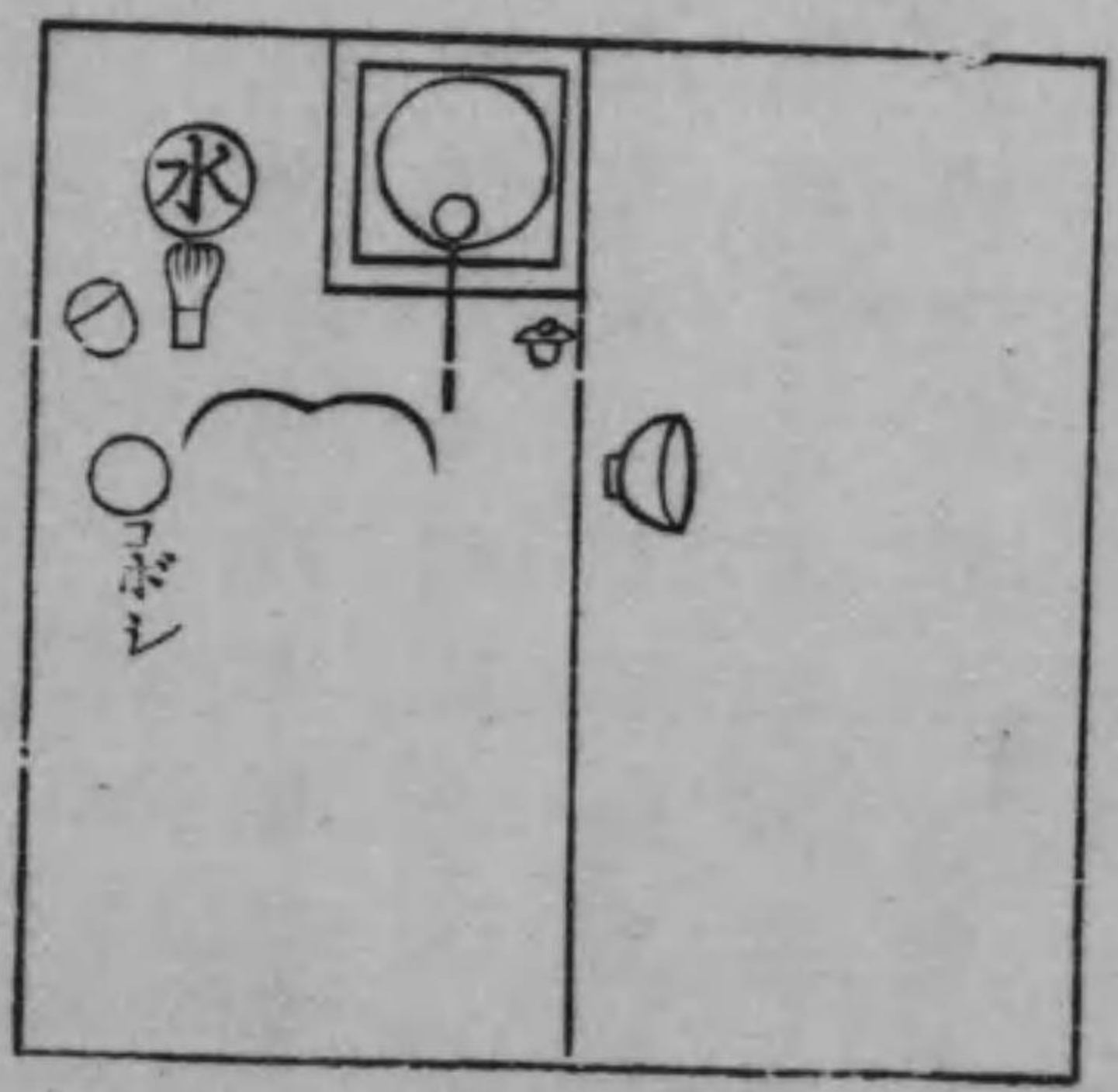
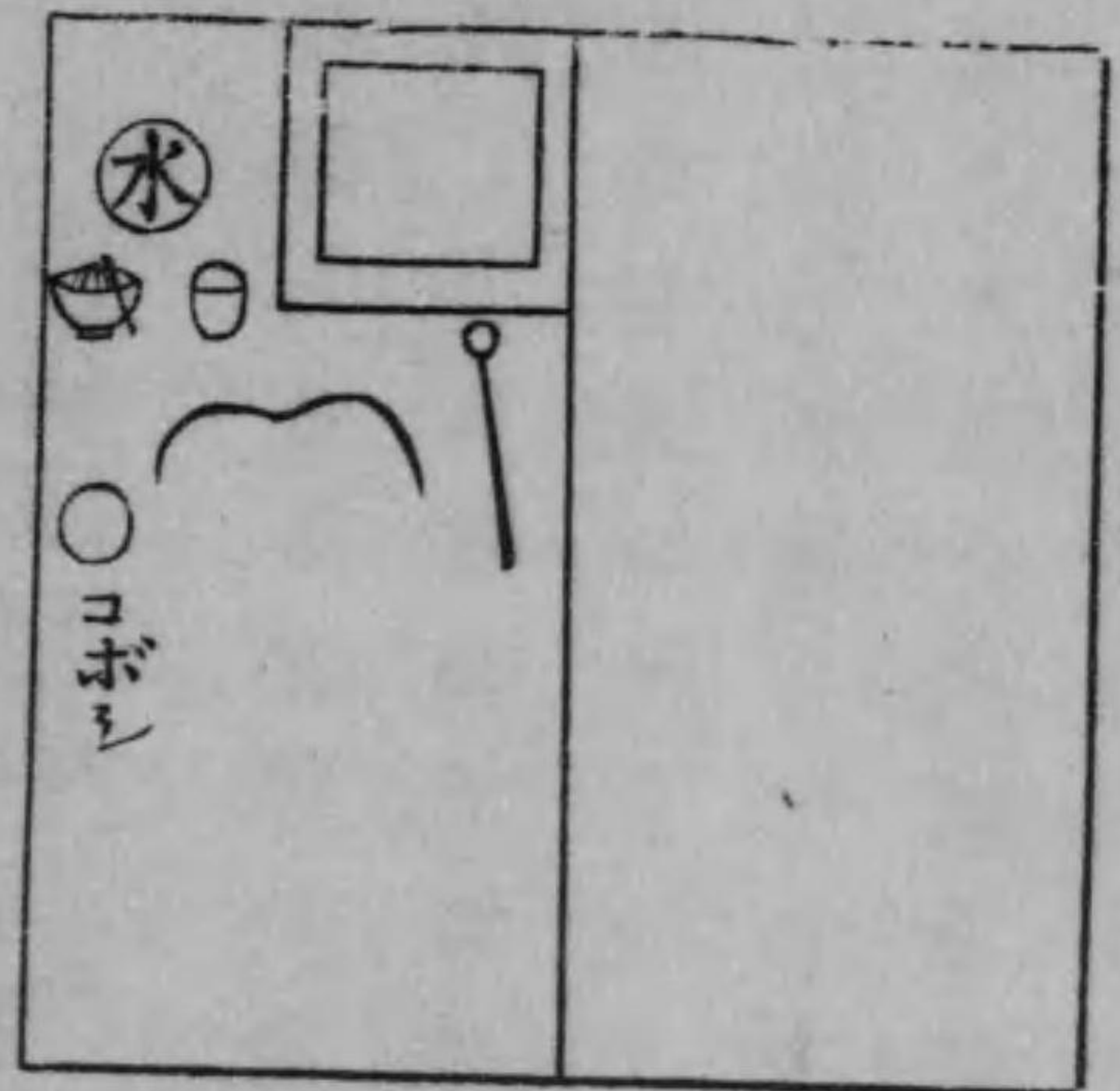




向切本勝手薄茶點前

一水指を爐の左脇の中央に置き棗茶碗を持ち出して水指の前に置合し建水運び出して爐縁の左縁の外角を眞にして座し建水を左脇に置き柄杓を常の如く構へて蓋置を取出し爐縁の右方へ置き柄杓を眞直に豎つに引き茶碗棗を膝前に置き棗を拭ひて水指の左方少し前へ寄りたる所へ置き茶杓を拭ひて棗の上到手なりに置き茶筌を取出し水指の前

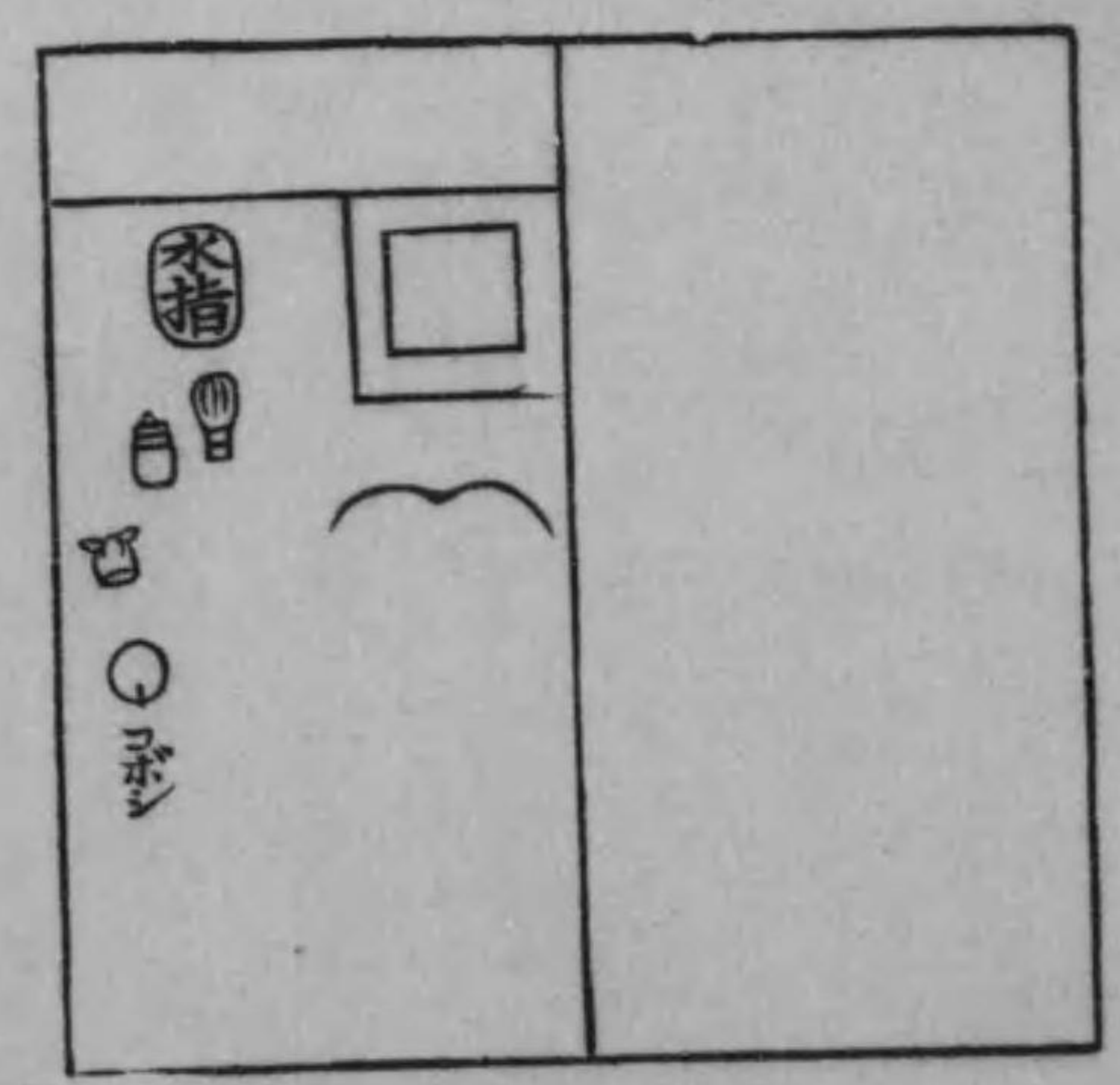
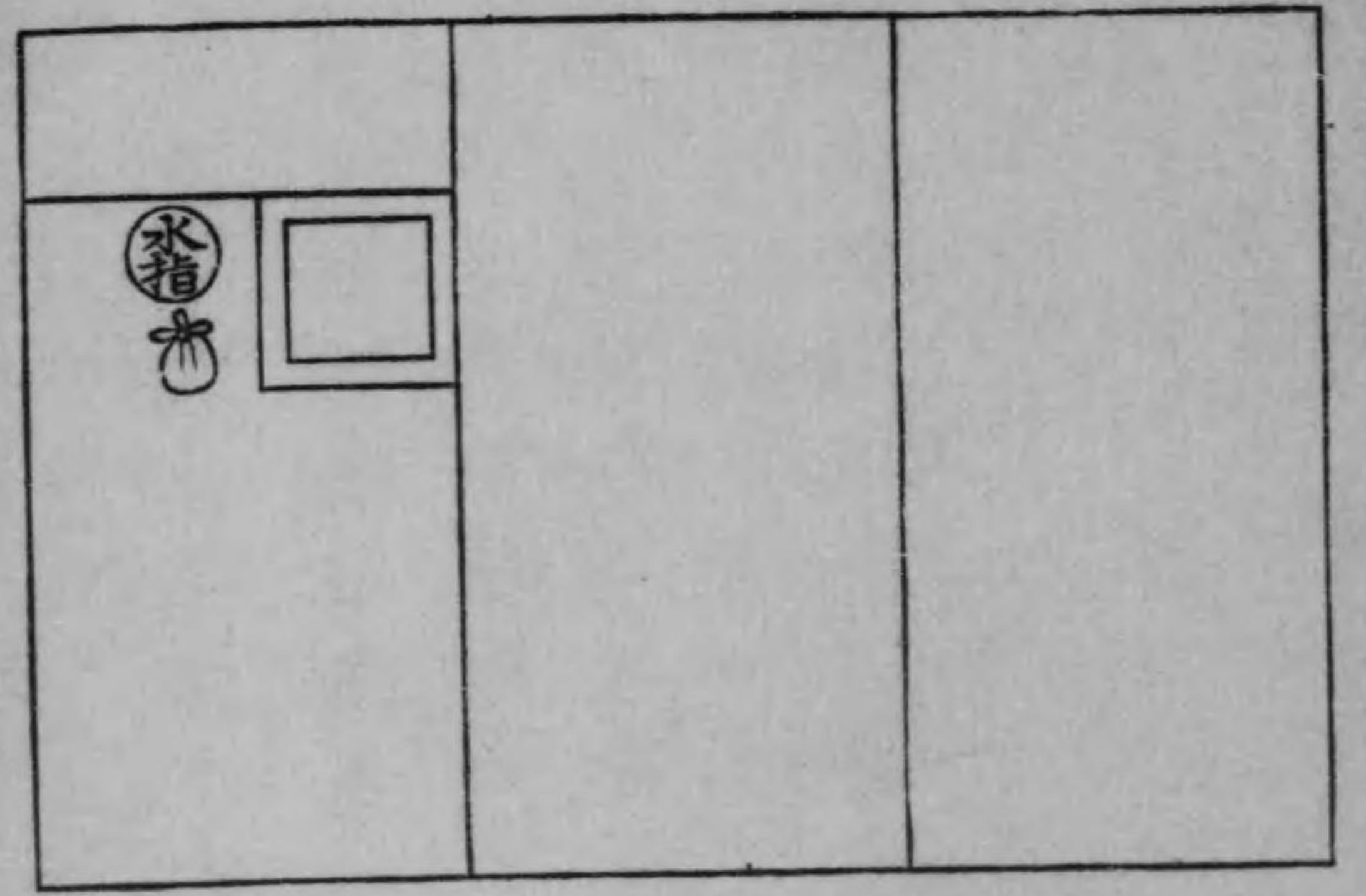
に置き棗茶筌を斜に流し置く而して柄杓を
釜に懸ける時も真直に柄杓の柄を引く可し



同濃茶點前

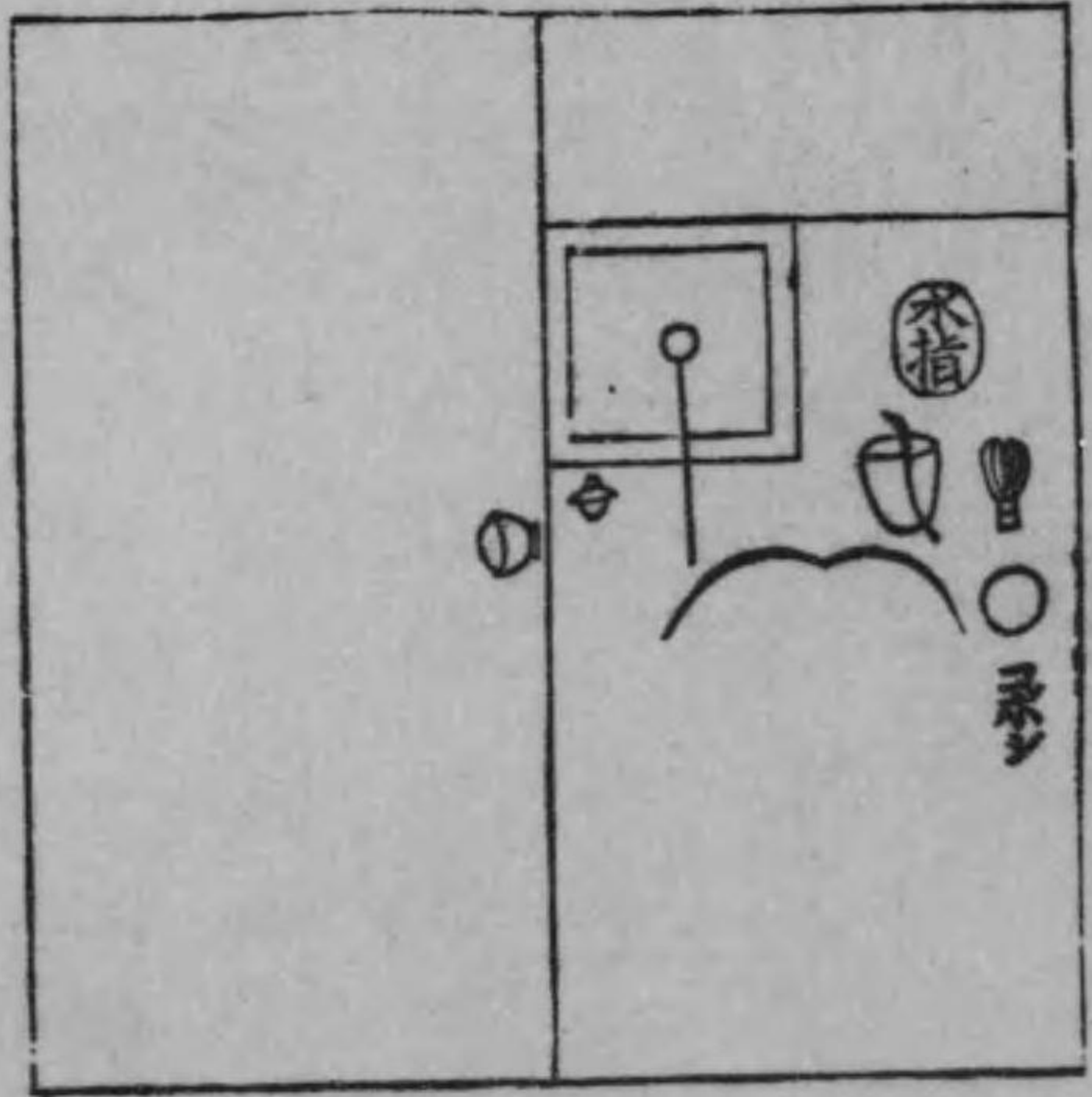
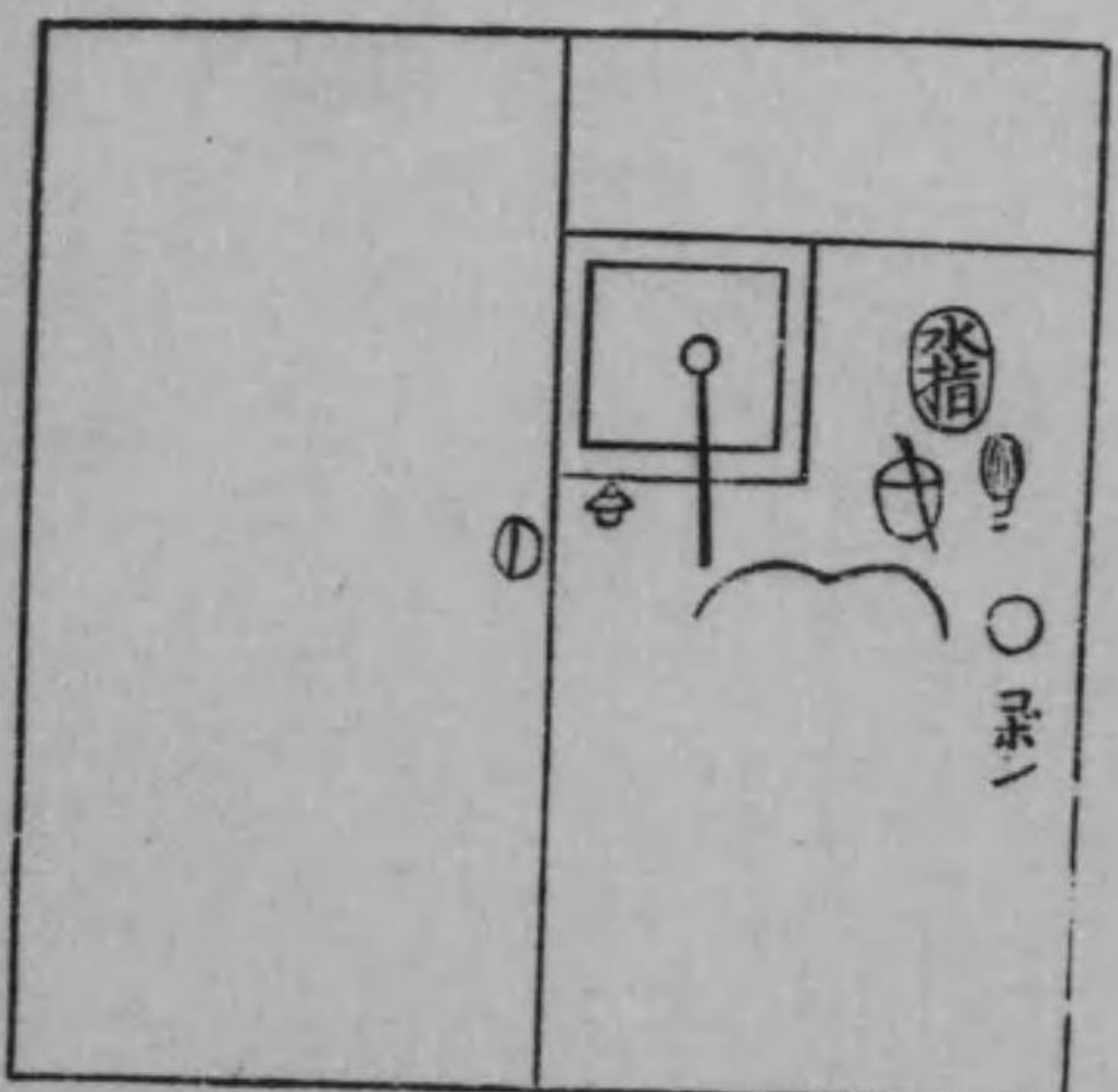
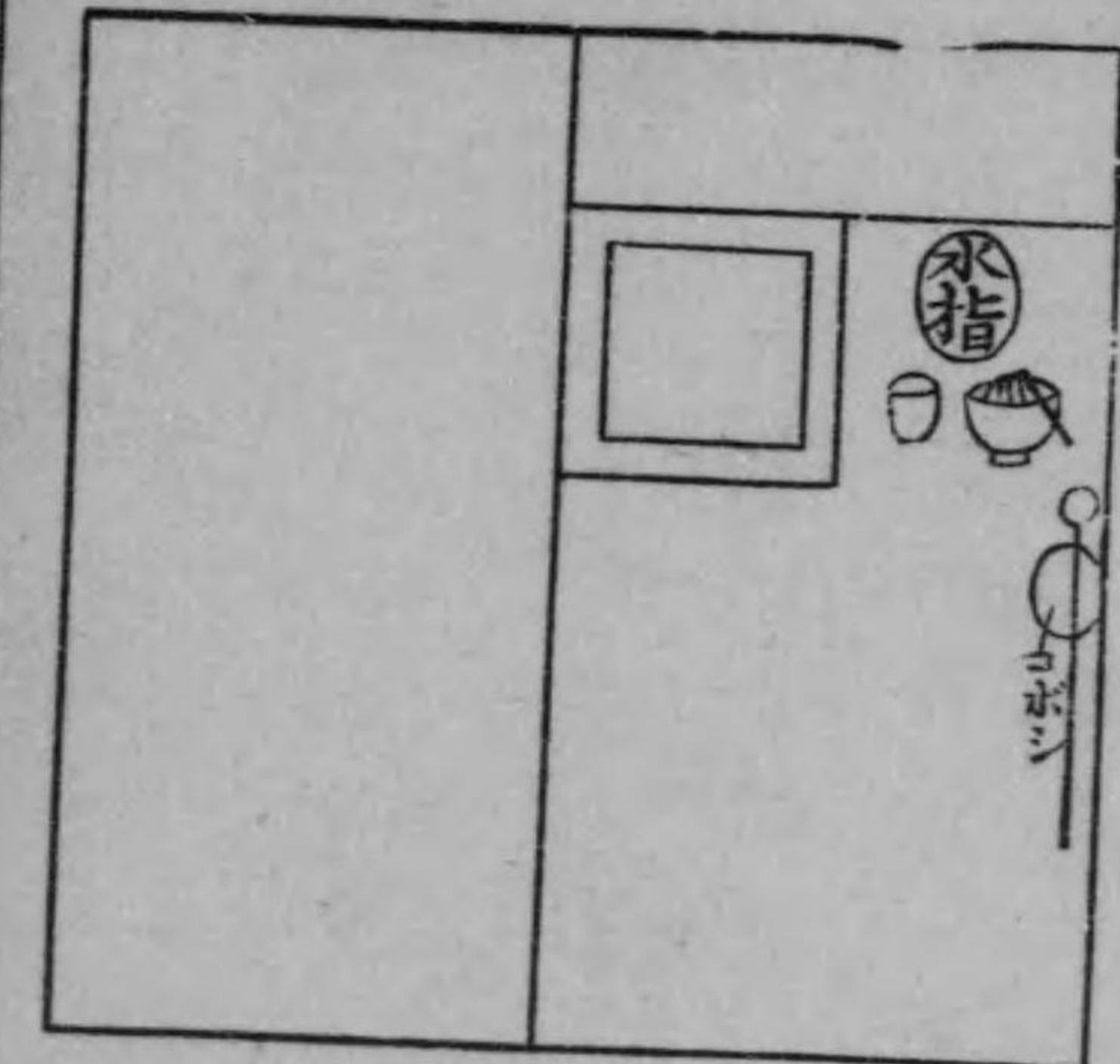
一水指を定座に置き茶入を其前に莊り置く事
常の通り茶碗を持出て疊の左方に假置し右
手にて茶入を少し右へ寄せ左手にて茶碗を
取り右手にて扱ひ茶入と置合し建水を運び
出して定座に置き茶を點ずる手順は四疊半
席に變らず而して茶入茶杓を斜めに流し置
合す事薄茶點前に同じく茶入の袋は建水の
向に置くか又は香合を置く處へ置く其他中

仕舞を爲したる後爐縁の右前角の方に向ひて控へ又點前終りて茶入茶杓袋の拜見を乞はれたる時茶入を持ち同じく爐縁の右前角の方に向き直り常の如くして茶入を爐縁の右前縁外の所に出し居前に向き茶杓を取り居前の儘茶杓を茶入の下座へ出し袋を取り前の如く客付へ向き茶杓の下座へ出す



向切逆勝手薄茶點前

一向切本勝手の打返しなり



向切逆勝手内流しの事

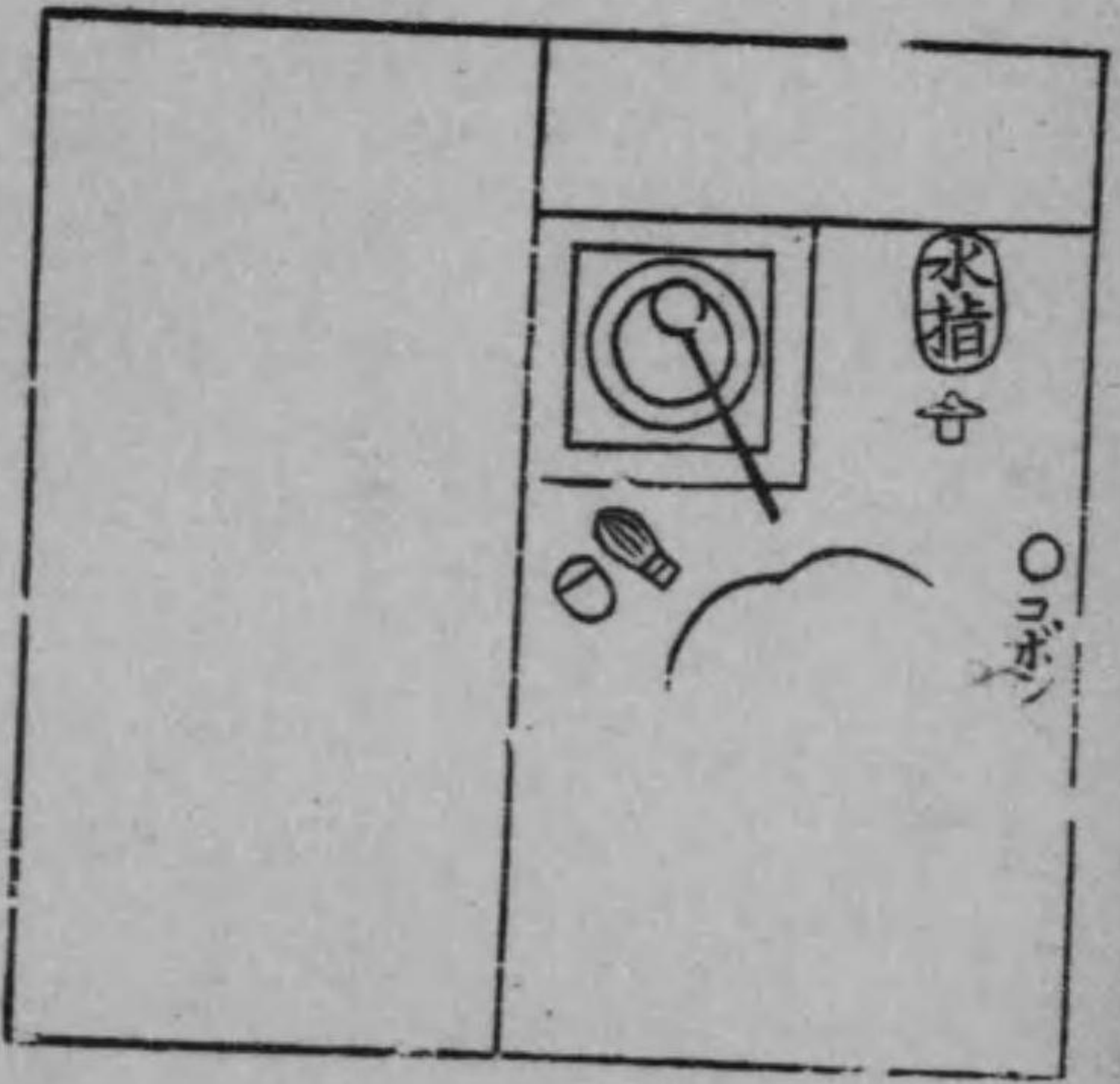
一普通逆勝手の如く運び出し爐縁の左前角に向ひて座し柄杓蓋置は其儘に爲し置き直ちに右手にて茶碗を取り左手に扱ひ右手に持替へ膝前に置き右手にて茶器を取り常の如く爲し茶器并茶杓を拭て圖の所に置き茶筌を同じく出し茶碗を少し引き寄せて後柄杓を構へて蓋置を取出し水指の前に置き釜の蓋を取り其上に置き湯を汲みて順次茶を點

る事定法の如し

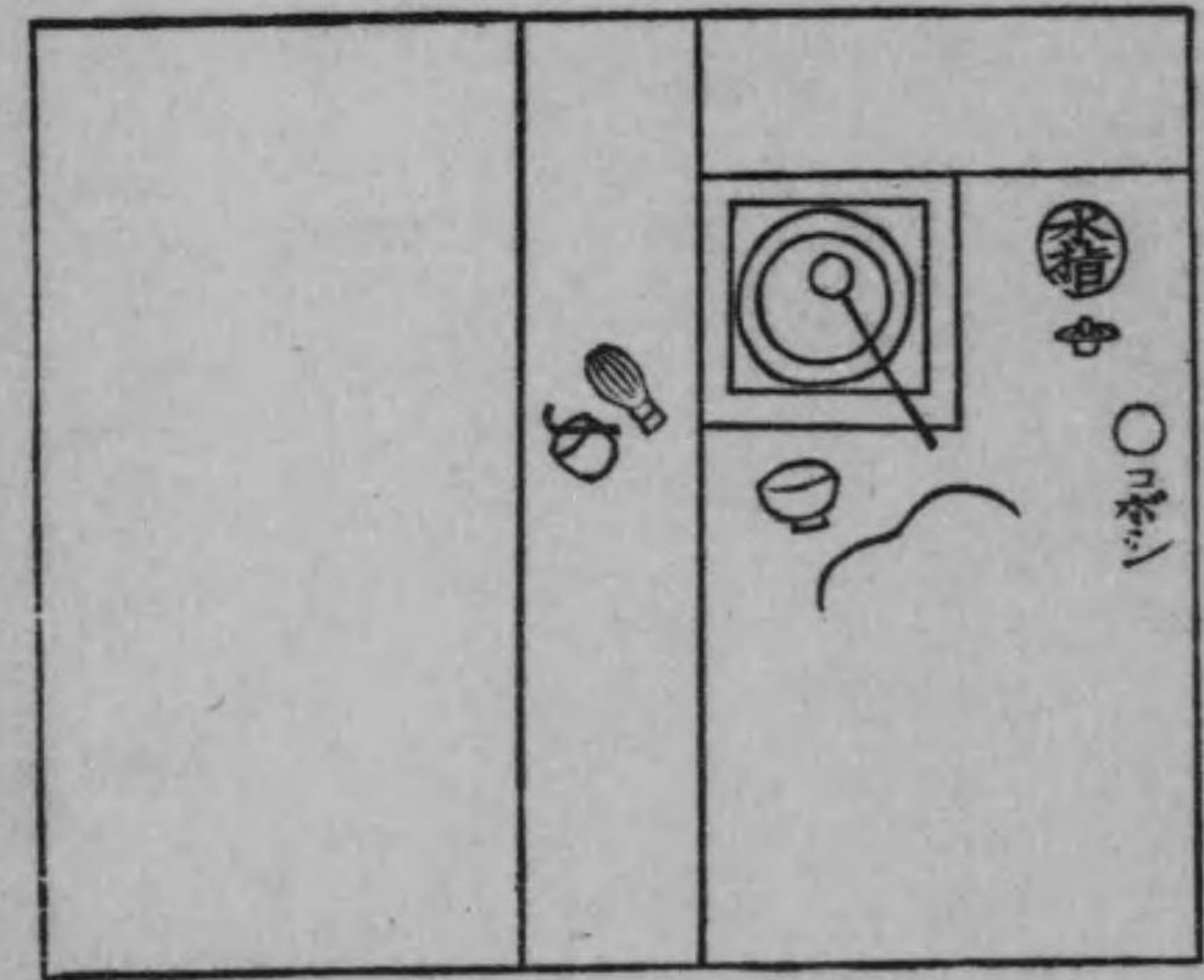
一茶を點じ終りて後釜へ水をさし釜の蓋を閉め其儘柄杓を建水の上に掛け蓋置を取り建水の後ろに置き次に水指の蓋を爲し棗を取り水指の左方に置き茶碗を取り棗と置合して後柄杓蓋置建水を持ち勝手へ引く

向切逆勝手外流しの事

一此點前は中板の在る席又長三疊の席にのみ
用ゆるものにして總ての手順は内流し點前

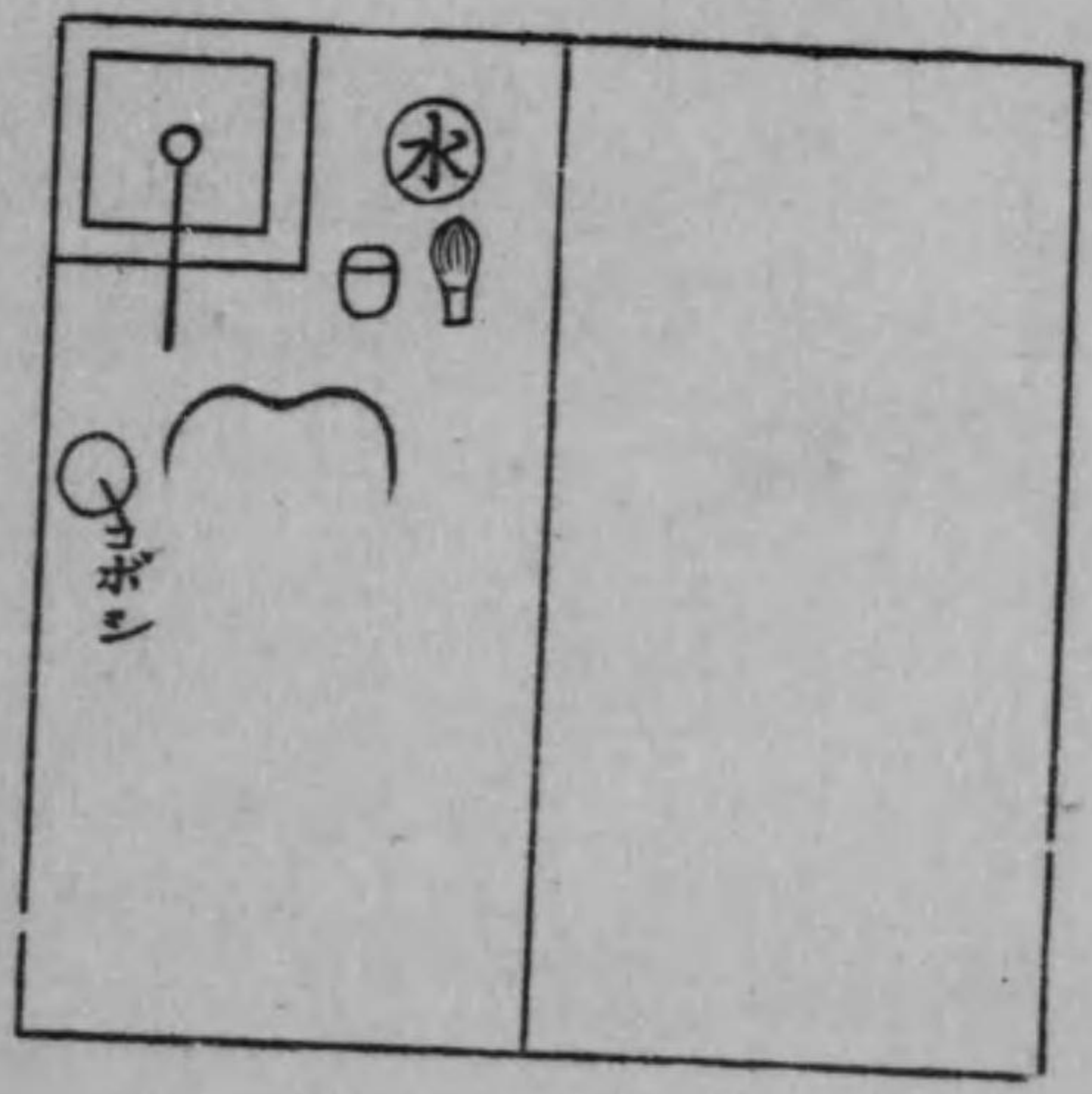


に變らず茶筌并に茶器を疊の縁外板の上へ
流し置く可し



隅 爐 本 勝 手 薄 茶 點 前

一 大 概 ね 風 呂 點 前 に 變 ら ず

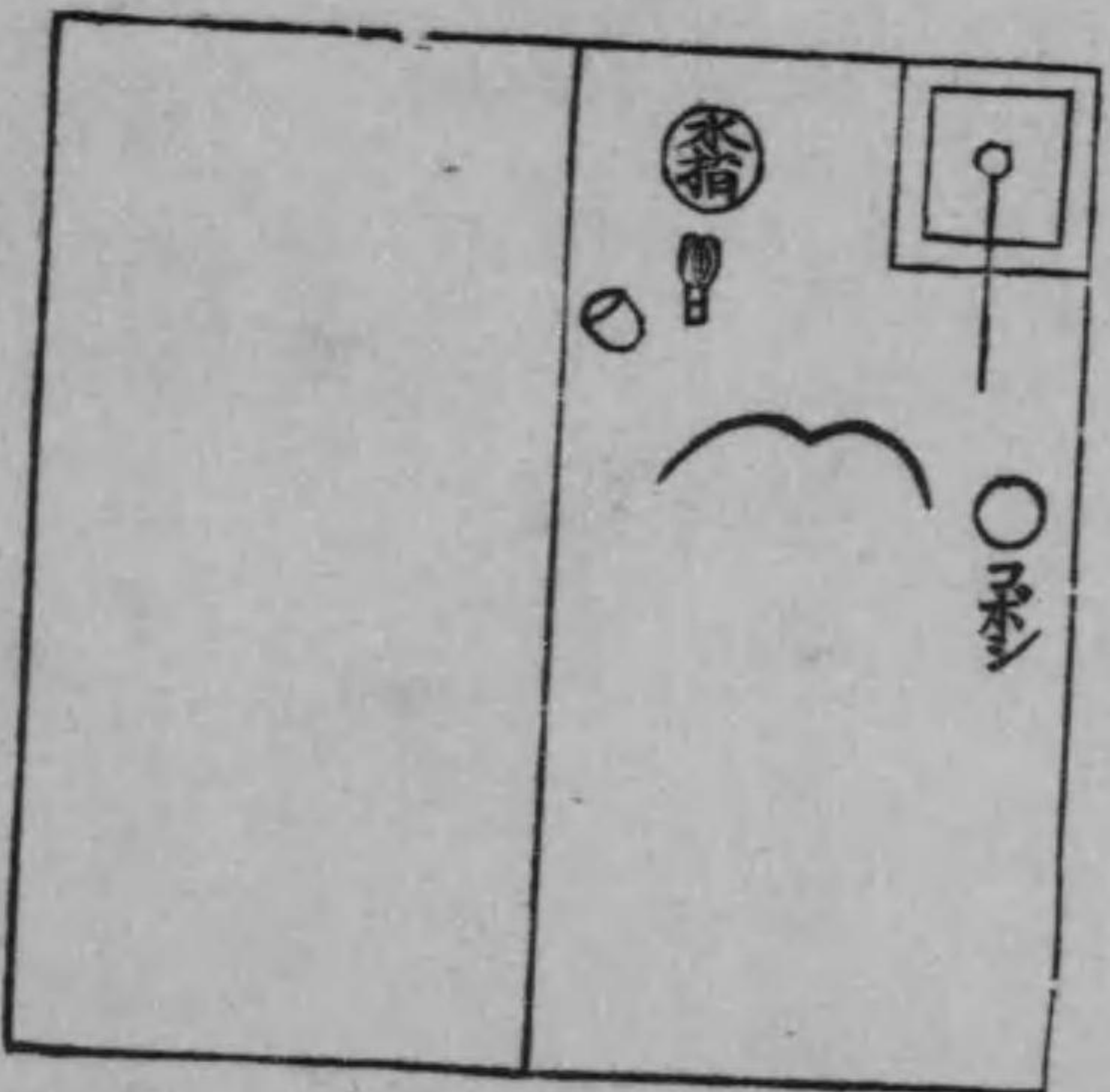


隅 爐 本 勝 手 濃 茶 點 前

一 風 呂 濃 茶 點 前 に 變 ら ず 茶 入 の 袋 は 建 水 の 向 に 置 く

隅 爐 逆 勝 手 點 前

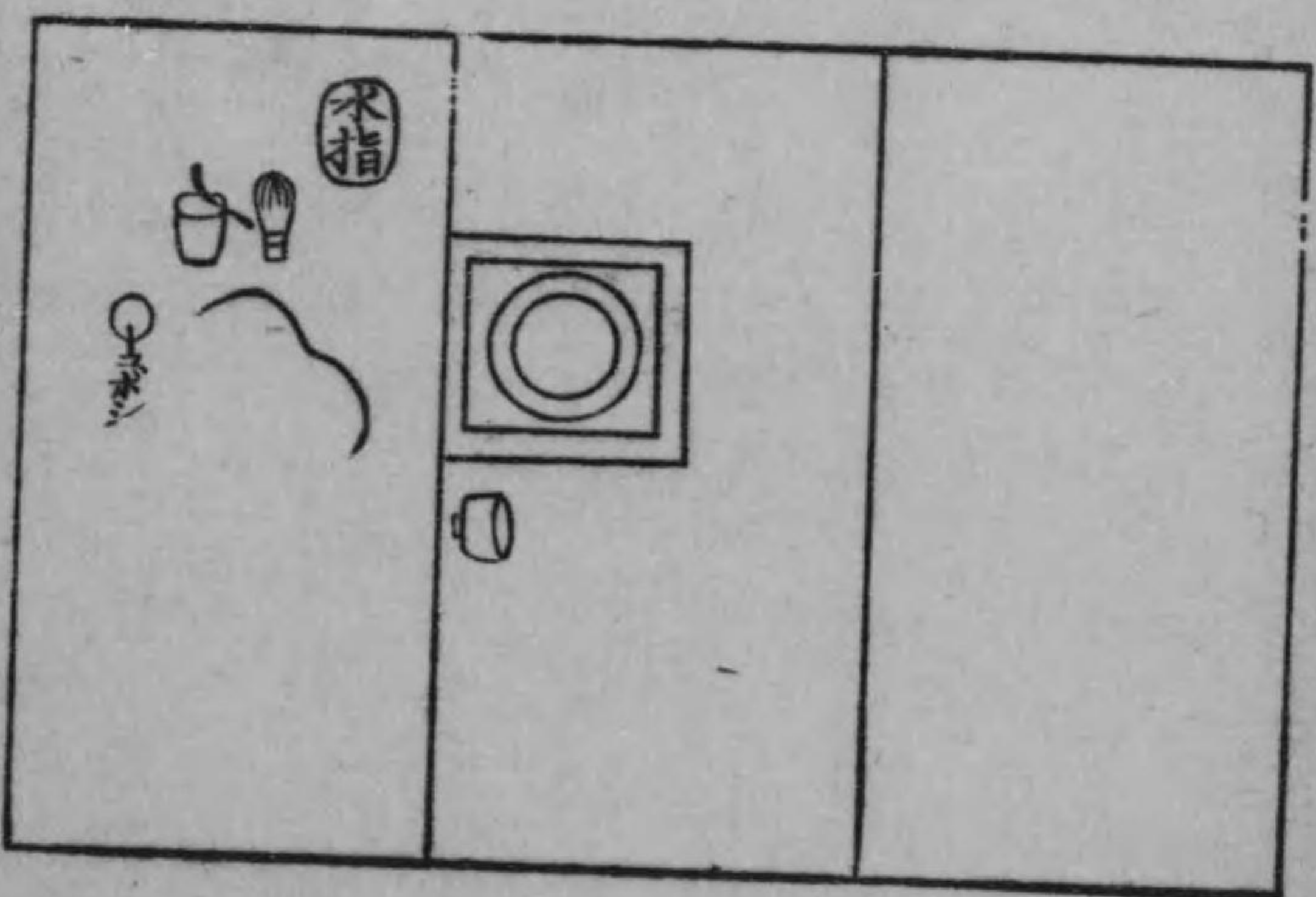
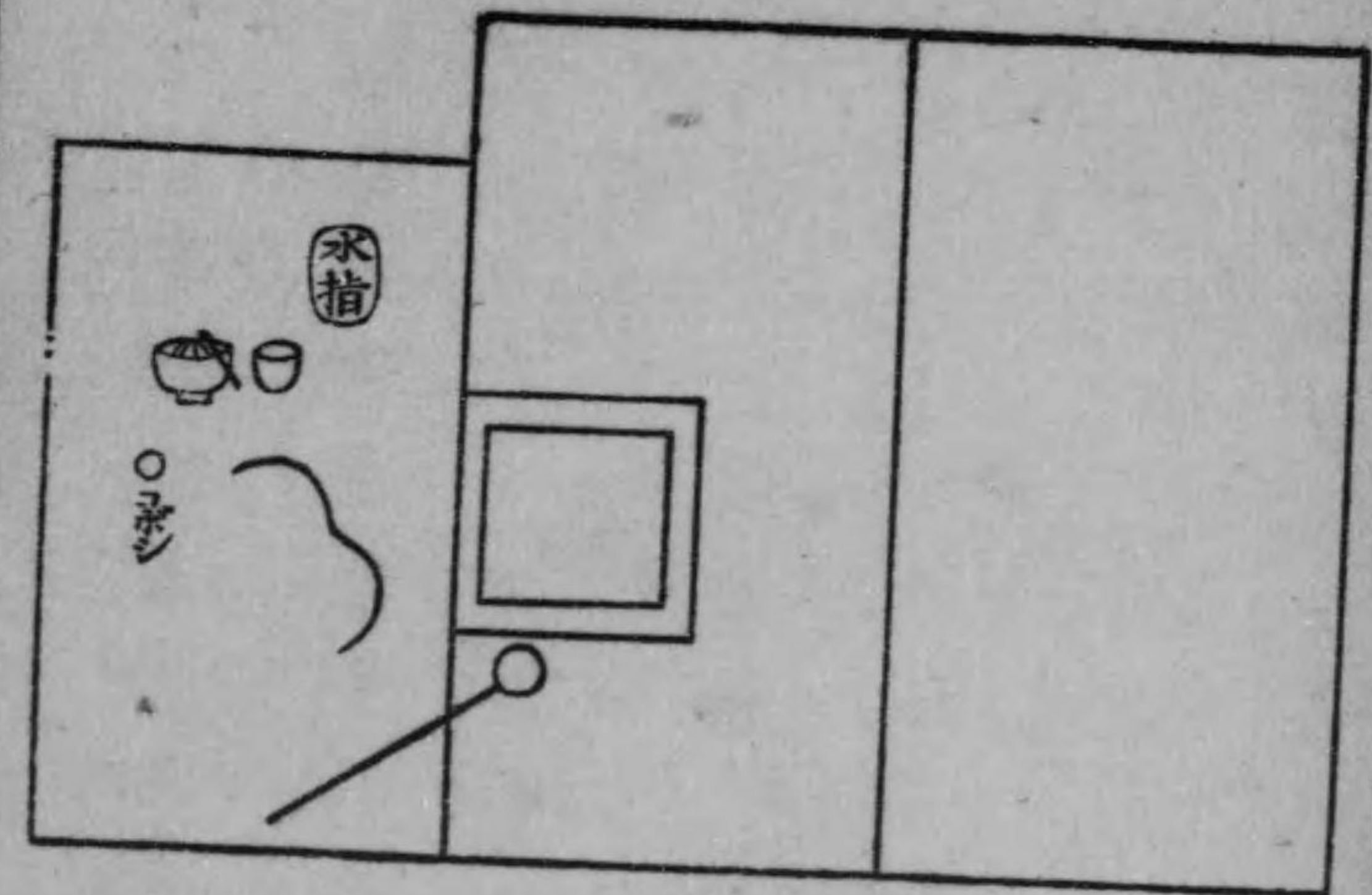
一 濃 茶 并 に 濃 茶 共 本 勝 手 の 打 返 し に 爲 す 可 し



臺日本勝手爐點前

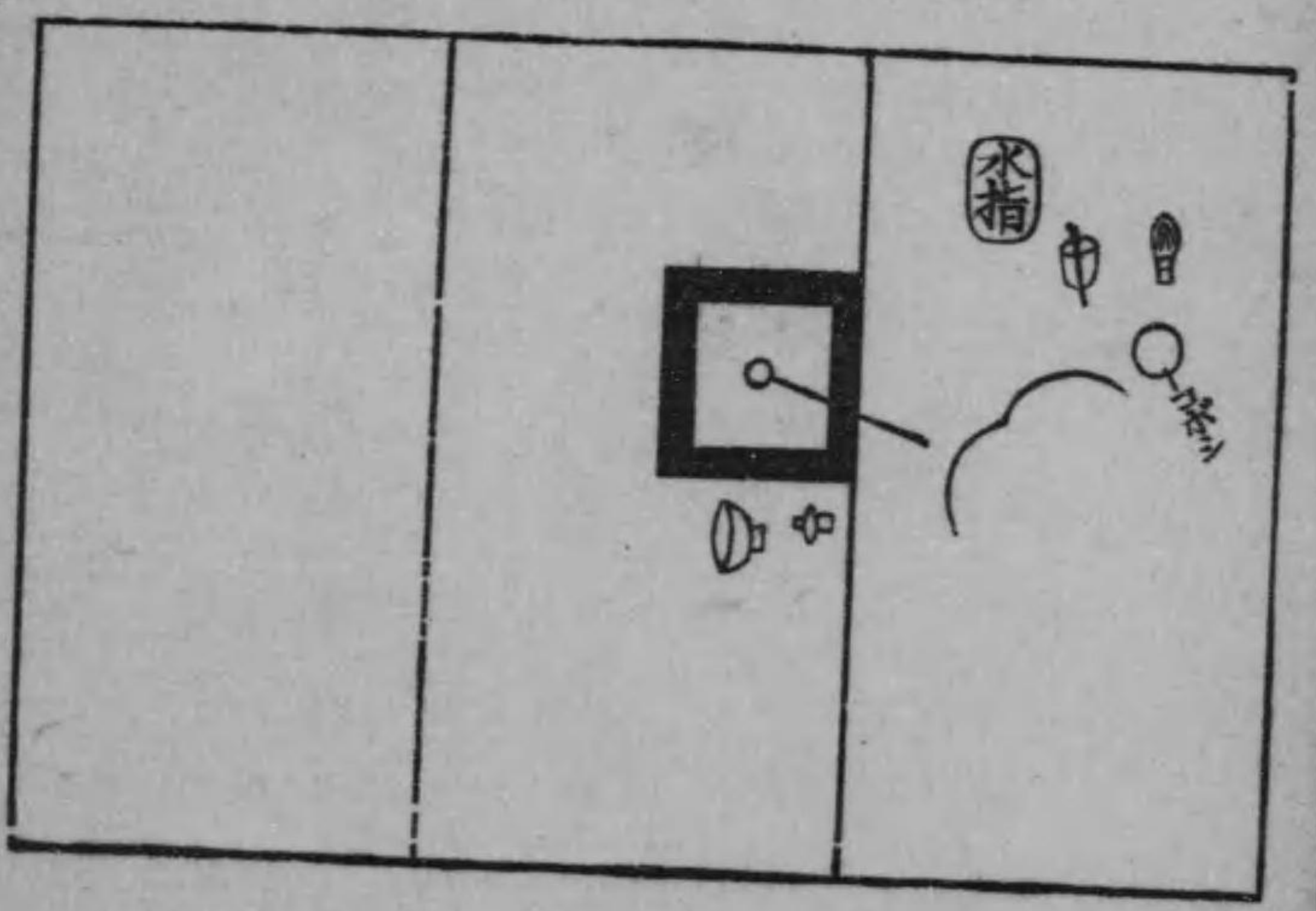
一水指を道具疊の凡そ四つ割右方に置き棗茶碗は水指の前疊の眞を割て置合せ棗茶筌も又疊の眞を割りて置合し水指の蓋は右手にて取り左手にて扱ひ右手にて水指の左脇に立掛け置く其他の手順は總て普通點前に變らず

一濃茶點前の節茶入は疊の眞に莊り置く可し其他皆前述に等し



臺目逆勝手爐點前

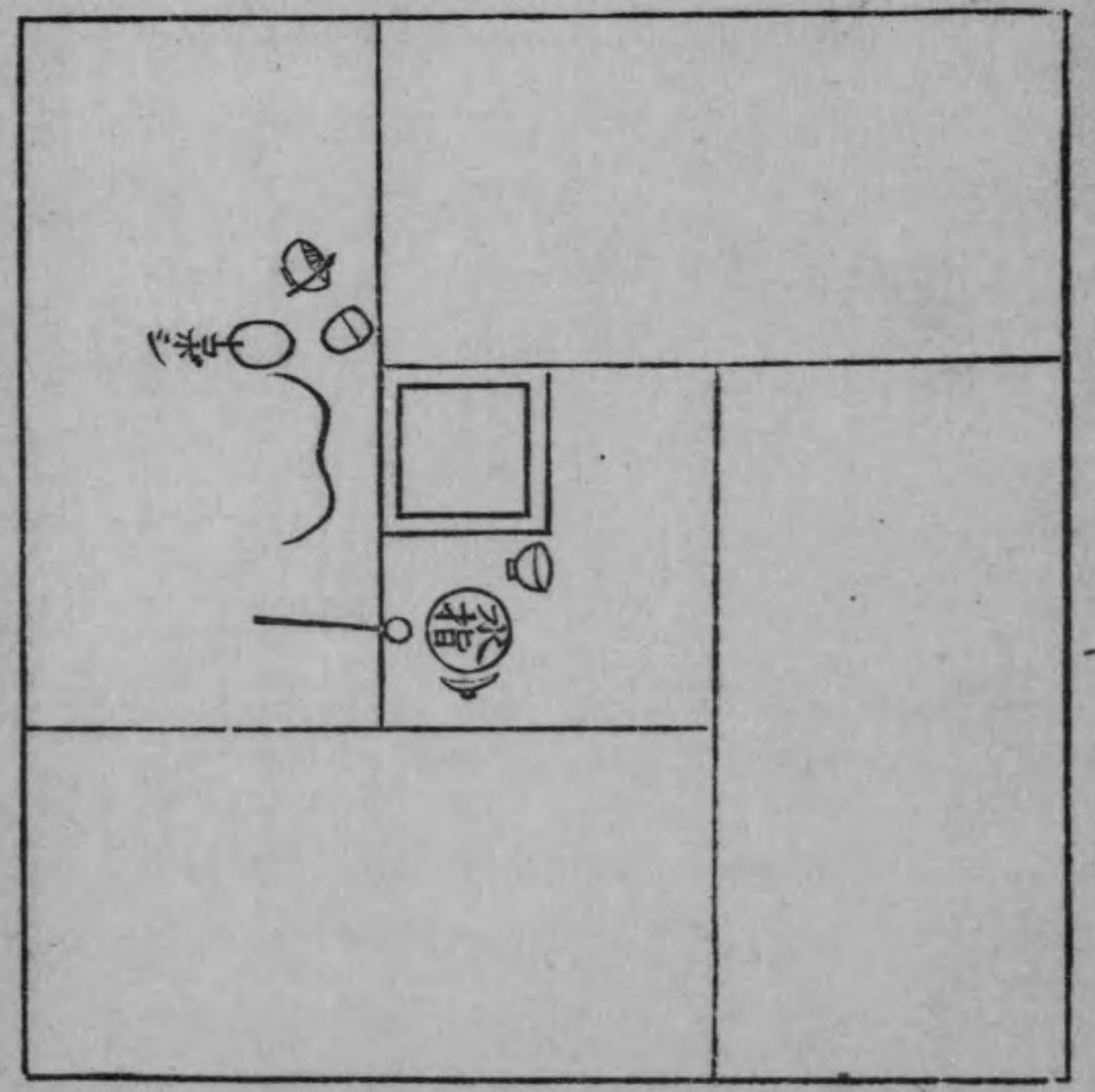
一前述臺目席點前の打返しなり

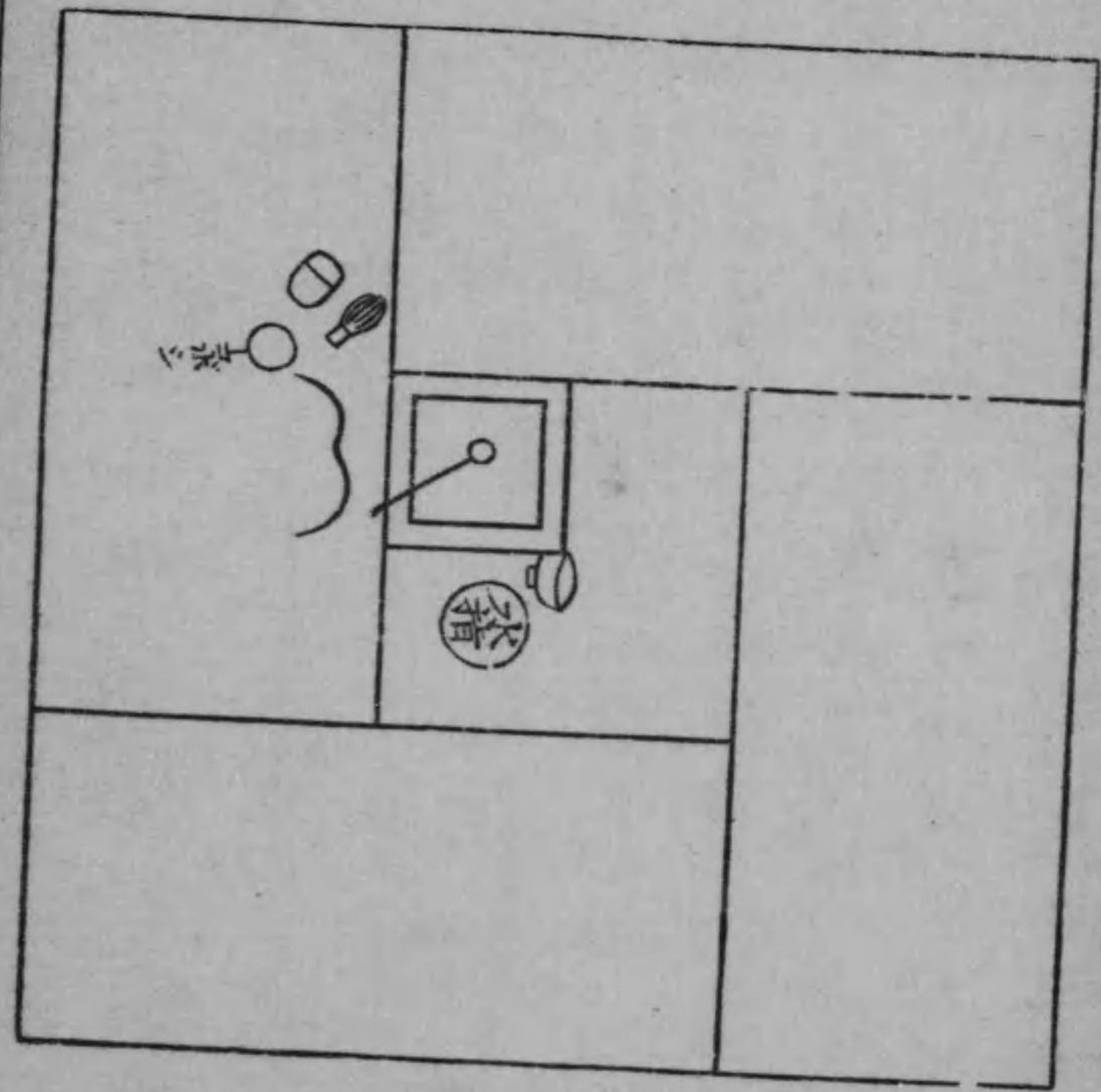


四疊半爐流し點前

一 水指を持出して爐の右脇銀付の所に置き棗
 茶碗を運び出して圖の如く流して置合し建
 水を持出て爐の正面に居前を定め柄杓を構
 へて蓋置を取出し水指の前に置き柄杓其上
 に真直に引く
 一 順次棗を拭ひて元茶碗の在りし所に置き茶
 杓を手なりに置き茶筌を出して元棗の在り
 し所に置き茶筌棗を斜めに流して置合し又

水指の蓋を取るには右手にて取り左手にて扱ひ更に右手に持ち替へ水指の左脇に蓋のつまみを内にして立掛け置き茶を點して茶碗を爐縁の右向ふ角の脇に出す其他常に變る事無し





臺子長板類爐薄茶點前

一茶碗を運び出して臺子の正面に座し茶碗を
 疊の左方に假置し右手にて棗を取り疊の上
 に臺子の中央より少し右へ寄りたる所に置
 き左手にて茶碗を取り右手にて扱ひ左手に
 て棗の左方に置合す次に右手にて建水を取
 り左手に渡して左膝脇に置き火箸を抜き取
 り臺子の左脇に風呂點前の項に述べたる如
 くなして置き次に蓋置を取出し左掌に載せ

たゞ儘居前に向き穂屋蓋置を用ひたる節には蓋を打返して定座に置き建水を少し進めて居前を正し常の如く棗茶杓を拭ひて臺子の前に元茶碗の在りし處に置き茶筌を取出し棗の右に置合し茶碗を少し膝前へ引き寄せて後臺子の正面に向き柄杓を抜き取り居前へ持ち廻り柄杓を構へて釜の蓋を取り蓋置の上に置き順次茶を點ずる事常の如く而して水指の蓋は右手より三手に取る可し一終りに釜へ水をさし湯返しを爲して柄杓を

千宗室 茶經 二之巻

構へ釜の蓋を爲し柄杓を臺子の正面に持廻りて杓立に莊り戻し居前に向き直りて水指の蓋を右手より三手に扱ひて閉め蓋置を取りり穂屋の蓋を打返して元の如くなし臺子の正面に持ち廻りて杓立の前に置き次に火箸を杓立に莊り戻し右手にて茶碗を左方へ假置きし同じく右手にて棗を天井板の中央に莊り然る後建水を持ち立て勝手へ引く一茶碗を引き次に水次を持出して水指の前に座し右手にて蓋を取り左手に渡して水指の

千宗室 茶經 二之巻

左脇に立掛け置き水をつぎて後左手にて蓋を取り右手に渡して水指の蓋を閉め水次を勝手へ引く

同濃茶點前

一初め茶入を臺子の前疊の左右真中の所に莊り置き茶碗を運び出して茶入と置合し建水を取りて左膝脇に置き火箸を抜き臺子の左脇に置く事前述の如くなし次に蓋置を取出して居前に向き直り蓋置を其儘定座に置き

主客共に總禮をなし次に建水を進めて居前を正し順次茶入茶杓を拭ひて定座に置茶筌を取り茶入と置合し服紗にて水指の蓋を拭ひ茶碗を少し引き寄せて茶巾をのせる後蓋置を打返して釜の蓋を取り其上に置き臺子の正面に向き柄杓を取り居前へ持廻りて湯を汲み茶碗に入れて又臺子の方に向き釜の蓋を爲し蓋置の蓋を打返して前の如くに爲し茶筌投じを爲し湯を捨て茶碗を拭ひて茶を茶碗に入れ次に蓋置の蓋を打返して釜の

蓋を取り臺子の正面に向ひて柄杓を取り居前へ持ち廻りて湯を汲み茶を點ずる事常の如し

一上客一口呑みたる時服加減を尋ね柄杓を取り臺子の正面に向き柄杓を杓立に戻し居前に向き直りて釜の蓋を爲し蓋置を取りて蓋を元の如く爲し臺子の方に向ひて杓立の前に置き更に客の正面に向き直り控へ居る末客呑み終れば臺子の正面に向ひて蓋置を取り居前に向き直りて蓋置の蓋を打ち返して

定座に置き釜の蓋を取り又臺子の正面に向ひて柄杓を取り居前へ持ち廻りて釜に掛け置き茶巾を取り釜の蓋の上に載せ續いて水指の蓋を取り釜へ水一杓さして柄杓を釜へ掛け置く以下常に同じ

一茶碗并に茶入を臺子の前に莊り戻し釜へ水をさして湯返しを爲し柄杓を臺子の正面に持ち廻り杓立に莊り戻し居前に向き釜の蓋を爲し蓋置の蓋を打返して元の如く爲し續いて水指の蓋を閉む

一三器拜見の所望を受けて蓋置を取り左掌に載せ臺子正面に持廻りて杓立の前に置き次に火箸を取り杓立に莊り戻し右手にて茶碗を疊の左方に假置し茶入を客の正面に持廻り拭ふて爐の右脇に出す事普通點前の如し

棚ある時の薄茶並濃茶點前

一風呂の時と變りたる事無く點前終りて後柄杓は同じく湯返しを爲して棚へ莊り右手にて蓋置を取り左掌に載せ棚の正面に向ひて

棚に莊る其他風呂の部に詳記したる如し

一初め棚に柄杓蓋置莊り在る時には順次建水を持出して棚の正面に座し蓋置を取り居前へ持ち廻りて定座に置き柄杓を取り其上に引く可し其他常に變る事無し

一濃茶點前に在ては茶碗を持出し茶入と置合し柄杓蓋置建水を運び出して直ちに居前に座し順次茶を點ずる事常の如く爲し終りに水指の蓋を閉め三器拜見の所望を受けて柄杓を建水の上に掛け置き右手にて蓋置を取

69
3
168

り左掌に載せ棚の正面へ持廻りて建水の後ろに置き右手にて茶碗の假置きをなし茶入を客の正面へ持廻り拭ふて出す事前述に等し

茶
うらのとまや二之巻終

茶のたまや二之巻

千宗室 共編 一巻

終

